

あかびら市議会

かわら版

No. 78

第4回定例会

第4回定例会は、12月9日～12日までの4日間で開催され、令和7年度各会計補正予算案8件のほか、条例改正案等の議案8件、意見書案2件を審議しました。審議の結果、全ての議案が全会一致で原案可決となりました。

一般質問は、11日に5名、12日に3名が行いました。

※内容は2ページ以降に抜粋を掲載しています。

議会報告と意見交換会について



令和7年11月11日、13日に、議会報告と意見交換会を開催いたしました。31名の参加をいただき、駅前再開発や熊対策等、沢山の意見、要望をいただきました。頂いたご意見、ご要望については、今後の議会活動に生かして参ります。ご参加いただきました市民の皆様、大変ありがとうございました。

議員派遣報告（無所属クラブ、公明党、参政党）

ローカルマニフェスト推進連盟主催

2025全国地方議会サミット

(令和7年11月7日～9日)

1日目は、法政大学法学部政治学科教授の廣瀬克哉氏から「炎上の時代の政治コミュニケーション」と題して基調講演があり、その後3つのパネルディスカッションが行われました。SNSの影響と地方議会の方向性などについて参考になる事例や考え方が印象に残りました。

2日目は、地方議会の政策づくりについて3つのパネルディスカッションが行われ、選挙権を持たない子どもたちの意見をどのように政策サイクルに取り入れればよいかなどの議論が行われました。子どもは有権者ではないが主権者であるという言葉は印象的であり、改めて子どもと議会との距離を縮める工夫や、議会が能動的に取り組む必要性を感じました。

最後に、マニフェスト運動を先導してきた北川正恭早稲田大学名誉教授の最終講義があり、三重県知事時代の経験を基に、議会事務局の重要性、分権一括法による機関委任事務の全廃の理解を深める必要性などが述べられました。また、行政監視機能だけでなく、市民の声から政策を実現する役割を発揮するには、議員個人ではなくチーム議会として政策提言を行い、執行部と緊張感をもった対抗の構図を作らなければ住民から見れば議会の存在意義はないと厳しい指摘もありました。

二日間を通して

様々な自治体の事例に触れ、専門家の講師の方々の意見を聞くことができたことは大変貴重な経験となりました。今後の議会改革や、議会活動に活かしていきたいと思えます。



一般質問

新政クラブ



安藤 繁

産業の振興について

【質問】沼田町は積極的に企業訪問を行い企業誘致に成功している。今後、どの様に誘致を進めていくのか。

【答弁】効果的な企業誘致の為、来年度「企業進出意向調査」を実施し、新たな誘致活動に取り組む。

【質問】茂尻小学校閉校後の活用について、地域の要望に沿って進めていると思う。取り組み状況を伺う。

【答弁】閉校後の活用について、土地の用途変更を進め誘致体制を整えつつ企業受け入れに取り組んでいる。

環境問題について

【質問】プラスチックごみの分別収集の取り組みについて伺う。

【答弁】中空衛生施設組合で先進地の処理セン

ターを視察・検討をしており、中・北空知廃棄物処理広域連合では処理方式の基本構想の策定、分別収集等も協議されている。

【質問】当市も「プラスチック製容器包装」を分別収集し、リサイクルする取り組みを進めては如何か。

【答弁】プラスチック資源ごみとして分別収集し、リサイクルする事は可能だが、分別・運搬・一時的保管場所の確保等現状では厳しい。

まちづくり事業について

【質問】「ちぶ太」のキャラクター製品や着ぐるみをイベント等で販売、活用し「赤黒のまちづくり」を盛り上げては如何か。

【答弁】「ちぶ太」の着ぐるみや商品化は、市民の愛着を育てまちの魅力を外内に発信するPR資源として活用出来、事業実行委員会検討する。

赤平市と株式会社赤平振興公社について

【質問】北見市の幹部職員が「北見都市施設管理公社」の接待を受け問題になっている。当市と赤

平振興公社のサービスと倫理について伺う。

【答弁】当市では、職員倫理規程で市民の不信を招く行為を慎む事を定めており、振興公社との間で不祥事もなく、今後も規律の徹底に努める。

【質問】「赤平市職員倫理規程」の該当者は、一般職員も含まれているが、特別職も含むとすべきでないか。

【答弁】一般職と同一の枠組みは難しい面がある。他の自治体も参考にして研究する。

【質問】市も振興公社も、適時に倫理規定に係る研修会・啓発活動等を実施すべきでないか。

【答弁】いただいた意見は、貴重な意見とさせて頂く。

参政党



今野 宙

赤平市の知名度、魅力について

【質問】市の知名度向上は非常に大切だと考える

が、現在の取り組みについて伺う。

【答弁】ブランド力の高いものづくり企業や著名な方々の情報発信力、ふるさと納税返礼品、各種SNSを通じた魅力発信、メディア活用に関しては今後も「ロケ地・赤平」として誘致に繋げていく。

【再質問】現在の赤平市の知名度、認知度について十分高いと思うか、市長の率直な見解を伺う。

【答弁】全国的に見ればまだまだ十分とは言えないと感じている。

【質問】今の赤平はこれだというものを具体的に確立しながら、住民もそう思う、市外の方からも広く認知されるように取り組んではどうかと思うが、今後の方針について伺う。

【答弁】日本遺産炭鉄港や赤黒のまちづくり、SNSを通じた魅力発信を行い、認知度向上と地域活性化を図っていく。

【再質問】新たなキャッ

チコピーやイメージの確立等、新たなことにどんな挑戦していくべきだと思いますが市長の考えを

伺う。

【答弁】新しいことに挑戦することは認知度を高めるためには非常に重要と考えている。特にメディアの影響は大きく、ロケ地として実績を積み重ねることは認知度向上に大きく貢献するものと考えられる。赤平市にはまだまだ多くの可能性があると思われ、自身強く感じている。今後も知恵を出し合いながら市民の皆様とともに認知度向上につなげていく。

図書館について

【質問】老朽化や図書館としての快適な空間といった空調設備やスペースの機能面等、様々な課題があると思うが、今後の図書館運営について伺う。

【答弁】どのようにすれば図書館を利用される方に対し、快適で居心地よく過ごせる空間を提供できるのかを考え、エアコンの導入も含め、他の図書館の実施状況なども参考に検討していく。よみかかせ会や朗読会など、各イベントを含めた図書館の魅力発信を行い、利用者の増加を図っていく。

民主クラブ



若山 武信

赤平駅前周辺の商業対策について

【質問】最近赤平駅前周辺から、銀行・企業・商業店舗の数が撤退。商業対策は地域経済の活性化や人口減少問題への対応と密接に関連しており、駅前周辺の商業対策について市長の考えを伺う。

【答弁】市の関係課長と商工会議所との間で「駅前対策打合せ会議」を開催。行政や商工会議所のみならず、商業者や関係団体を含めた協議体を構築したいとの意見もあり、地域との連携を図りながら持続可能な駅前商業の対策に取り組んでいく。

エリアサポーターの充実と共生について

【質問】自ら進んで、少しでも赤平を良くしたいとエリアサポーターになってくれる人を、行政が励まし、彼らとの日常的な「対話」を重ねることで、

市民自らが、「助け合い・支え合う共生のまち」を作り上げ、住みやすく、より良いまちになっていくのでは、と、私は強く考えている。エリアサポーターの充実と共生についての今後の対応について市長の考え方を伺う。

【答弁】赤平市独自の取り組みとして平成28年からエリアサポーターの養成を行っている。登録者210名。住民同士が助け合う「互助」の取組が10年近くも行われており、今後もエリアサポーターの人たちが、無理のない範囲で活動を続けられるよう支援していく。

あかびら市立病院、赤字対策時の改善策について

【質問】あかびら市立病院の令和6年度の決算状況をみると、損益計算書による収益的収入は、合計で約23億円。収益的支出は合計約24億4千万円で令和6年度は、約1億4千万円の純損失（赤字）。また、赤平市病院事業報告書においての資本勘定にても約1億6千9百万円の収支不足

が生じている。今後における赤字対策への改善策を独自で見いだせるのかどうか市長の考え方を伺う。

【答弁】令和6年度決算において、自治体病院の9割近くが計上赤字。病院独自の改善には限界があることも感じている。国や道に対し医療提供体制の維持に必要な、財政的支援や人材確保についても、要望していく。

新政クラブ



北市 勲

市役所の機構見直しについて

【質問】人口減少や市民の行政需要の多様化、市民の利便性の向上及び組織のスリム化など市役所の機構見直しを市長公約として表明された見直し案について伺う。

【答弁】実行性を持った機能する組織と変える為、制度設計、人員配置、業務の再設計、職員間の意

識共有など準備時間が不可欠であり現時点では具体案は示せない。

【質問】令和5年以来3年間の準備時間はあったのに具体的な見直し案を示せないのは任期中に実施する意思が無いのか、又は能力が無いのかと思われませんが、この様な状況についての市長の考えを伺う。

【答弁】機構の見直しは重要な施策であり、説明が十分でなく、改革が進んでいないことは重く受けとめている。

【質問】任期中に実施出来るか伺う。

【答弁】任期中に実施出来るよう努力する。

経済活性化専門部署の設置について

【質問】人口減少とともに商工業は衰退しており、産業や経済の衰退を打開するために経済活性化専門部署を設置し企業誘致をすべきと思いますがその考えはあるのか伺う。

【答弁】企業誘致等に取組む専門部署の設置は難しいが「企業進出意向調査」を実施し、新たな

企業誘致に取り組む。一般社団法人中空知東部メディアカルケアネットワークについて

【質問】中空知の地域医療の確保のために中心的な医療機関の砂川市立病院・滝川市立病院と機能分化・連携体制の構築のため中空知全体の医療連携推進法人化の設立が必要となり、中空知全体の法人化に先立ち赤平市と芦別市が一般社団法人中空知東部メディアカルケアネットワークを設立したが、その成果について伺う。

【答弁】法人としてできる医療機器等の共同購入や共同利用などを模索しているが、具体的な成果は現時点では無い。今後とも協議を進めていく。

【質問】中心的な砂川市立病院・滝川市立病院の両病院が加入した新しい医療連携推進法人の設立は何時頃を予定しているのか伺う。

【答弁】中空知地域医療構想調整会議で地域医療連携に向けて協議していく。

新政クラブ



渡部 修之

める必要があるとは思いますが、国や他自治体の実証結果や動向に注視しつつ、導入効果や費用対効果を見極めながら研究していく。

コンパクトなまちづくりについて

【質問】人口減少とくに労働人口の減少が進む中で市の水道管路の更新や除排雪などは、半永久的に続くものだと思うが、現状の業務範囲を継続していくのは厳しいと思います。

赤平市が掲げているコンパクトなまちづくりを更に進めて行かなければ、管路更新や除排雪などの業務を持続可能な業務にするには、財政的にも人材的にも厳しいと思われるが、市長の見解を伺う。

【答弁】安定した行政サービスの維持や、生活利便性の向上、インフラ負担の軽減を図るため、更なるコンパクト化を進める必要があると考えている。

高齢者世帯等除雪費助成事業について

【質問】赤平市は、高齢

者世帯等除雪費助成として上限額2万円とした5割の助成をしているが、物価高騰を踏まえた上で、あかびらガンバレ応援基金を使える制度に変えるなどして、困っている高齢者世帯等を助けるためにも、増額するつもりはないのかを伺う。

無所属クラブ



木村 恵

【答弁】新たな財政負担も生じるので引き続き様々な角度から研究する。

商業振興について

【質問】後継者問題等について、事業継承個別相談会を行っているが、成果と実績はどうだったのか伺う。

【答弁】1回目は3社の相談があり、そのうち1社はその後2回の相談を受けている。2回目は1社の相談があった。

【質問】何軒事業継承に繋げるとか数値目標を設

取得する方針が示された。この件について市長はどのように感じたのか伺う。

【答弁】それぞれの町で取得に至った経緯や、その後どう活用するのかなどは、いろいろあると思う。具体的に申し上げることはないが、様々な角度から考えたいと思う。

【質問】この報道を見た市民は、美唄は進んでいるが赤平はこういう動きが見えないと思うのではないかと。本当に住んでいてよかったと思ってもらえると思うのか。住民懇談会や市議会で将来的に不安だから駅前再開発には反対という意見が一つでもあったのか。ここで積極的な姿勢を見せないでどうするのか、市長の考えを伺う。

【答弁】住民懇談会ではないところで積極的ではない方もいる。取得にむけてとなると公共施設が増えていくことにもつながる。活用していけば新たな予算もつけなければならぬ。慎重に考えていかなければならないと考えている。

駅前再開発について

【質問】幅広い構成でワーキンググループを作り実現可能かどうかというハードルをなくしたところから議論を始めてみてはどうか。考えを伺う。

【答弁】名称は別として協議体の構成を商業者の意向も踏まえ商工会議所と検討を進め、準備していく。

【質問】美唄市では休業中のホテルを無償譲渡で

公明党



丸山 勝正

重点支援地方交付金について

【質問】当市は生活者支援として、『たすけ愛商品券』を発行。本年度活用の方向性は。

【答弁】現時点で活用できる限度額の提示がなされていない。より効果的なものを検討。

【質問】事業者支援では商工会議所との連携が重要と思われるが取り組みについて伺う。

【答弁】情報の共有を図っており交付金の活用方法の検討について改めて意見交換する。

【質問】支援の迅速性が求められているが。

【答弁】可能な限り速やかに事業を実施する。駅前活性化に向けた取組みについて

【質問】交流センターみらい西側駐車場の除排雪等管理状況について伺う。

【答弁】駐車場管理者と協議の上本年度は雪の堆積場として使用することとしている。

【質問】あかびら共生ネットワークがブロンディ跡を民間の総合相談窓口の拠点として活用したい旨要望していると聞いているが。

【答弁】8日開催の検討会では関係団体を含めた協議体を構築したい旨意見があった。

居住環境の整備について

【質問】消費電力記録で高齢者の生活を見守るシステムを導入している自治体もあるが。

【答弁】ICTを活用した見守りに関して検討したことはあるが導入にはいたらなかった。

【質問】改正住宅セーフティネット法で居住支援協議会の設置が努力義務化されているが。

【答弁】現状協議会設置の状況にない。本市に即した住居確保の取り組みを進めていく。

【質問】単身高齢者世帯が多い当市にとって居住サポートは最重要課題では。

【答弁】住居と生活支援の一体的なセーフティネットの強化は重要であると認識している。

冬のウォーキングコースについて

【質問】総合体育館アリーナ2階の周回コースはもつと周知すべき場所と考えるが。

【答弁】日頃の健康維持に活用いただけよう広報などを通じ広く周知したい。

新政クラブ



竹村 恵一

住みやすいまちづくりについて

【質問】商業の振興について伺う。様々な支援を継続し、対応していますか。現実、市内中心市街の店舗が閉店・撤退・廃業しています。地域商業が守られておりませんか。

この様な現状を見て、今後の商業振興をどう考えますか。

【答弁】地域商業が衰退している現状は危機感を

持っておりません。様々な支援を実施し、各種イベントにも積極的に参加して特産品のPRに努めます。今後も市内中心街に訪れたいくなるよう、魅力ある商店街づくりにつなげていきたいと考えます。友好都市との交流について

【質問】加賀市との今後の交流について伺う。今年20年振りに灯された交流の火を今後どの様な状況で続けていくお考えですか。

【答弁】今後も訪問交流を継続、青少年の育成など教育・文化分野での交流や特産品を通じた産業交流、企業間の経済交流など多方面にわたる持続可能な連携を関係者と調整し、両市の友好関係が未永く続く様努めていきたい。

教育行政について

【質問】通学路交通安全プログラムについて伺う。日没16時過ぎると暗く、中学生の部活動帰り17時30分過ぎには真っ暗の中下校します。通学路の街灯の明るさなど点検し、危険因子に含めるべ

きだと思えますが考えを伺います。

【答弁】人通りの少ない暗い夜道は怖い・不安など心理的なものが働きます。これが通学路の危険因子に含まれるかと言う点は判断しかねますが、街路灯、防犯灯など維持管理者も異なり、市教委の立場から設置要望を進めるとは言えませんが、通学路の安全性確保は図ってまいります。



議会の動き

- 10 / 29 北海道市議会議長会正副会長会議・役員会（室蘭市）
- 11 / 4 北海道市長会中央実行運動（東京都）
- 11 / 11 議会報告会と意見交換会（交流センターみらい）
- 11 / 13 議会報告会と意見交換会（東公民館）
- 11 / 20 行政常任委員会
 - ・赤平市保養センター外3施設の指定管理について
 - ・教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について
 - ” 全員協議会
 - ” 議会改革検討協議会
- 11 / 26 全国市議会議長会第184回建設運輸委員会
 - ” 中空知衛生施設組合議会第2回定例会（滝川市）
 - ” 石狩川流域下水道組合議会第2回定例会（滝川市）
 - ” 空知教育センター組合議会第2回定例会（滝川市）
- 11 / 27 中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会（滝川市）
- 11 / 28 中空知広域市町村圏組合議会第2回定例会（滝川市）

- 11 / 28 滝川地区広域消防事務組合第2回定例会（滝川市）
- 12 / 4 議会運営委員会
- 12 / 9 赤平市議会第4回定例会（～12日まで）
 - ” 議会運営委員会
- 12 / 10 行政常任委員会
 - ・議案第216号 赤平市特別職の給与に関する条例の一部改正について
 - ・議案第217号 赤平市職員の給与に関する条例の一部改正について
 - ・議案第218号 赤平市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
 - ・議案第219号 赤平市コミュニティセンター条例の一部改正について
 - ・議案第220号 赤平市農業委員定数条例の一部改正について
 - ・議案第221号 赤平市市営住宅条例の一部改正について
 - ・議案第222号 公の施設の指定管理者の指定について（福栄地区集会所外22施設）
 - ・議案第223号 公の施設の指定管理者の指定について（赤平市保養センター外3施設）
 - ・議案第224号～議案第231号 令和7年度赤平市各会計補正予算

◎意見書2件可決

- ※ガソリン暫定税率の廃止に伴う恒久的な代替財源の確保を求める意見書
- ※脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

編集後記

寒さも厳しくなっている中、市民の皆様は元気で生活されているでしょうか？

12月に開催された第4回定例会では、赤平市議会として議長を除く8名全員が一般質問をして、活発な議論が展開されました。

エルム高原改修や駅前商店街の再開発、水道事業や町内会等のエアコン設置について等々、議会報告会で市民の皆様と意見交換をした内容の質問もありました。

今後ますます高齢化と人口減少が進む赤平市の将来を、市民の代表として、議員一人一人が真剣に考え、様々な質問をして、今の市民、未来の市民が安全・安心で幸せな生活が出来るようになるためには、どうするべきなのか？と言った内容の議論が多かったのではないかと思います。

赤平市の両輪である市議会と行政が、どのような話をしているのかを、一度、傍聴に来てみませんか？
(渡部)

かわら版編集委員会

委員長

今野

渡部

若山

木村

丸山

修之

武信

勝正

恵

宙

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。